



▶視察活動、要望活動



芦北町・竹崎町長を訪問

8月11日、竹崎和虎県議の計らいで芦北町の竹崎一成町長から7月豪雨の被災状況などについて前田敬介県議とともに話を伺うことができました。

その後、地元の町議や荒玉地区から参加したボランティアの方と一緒に自宅に流れ込んだ泥や瓦礫の搬出作業などを行いました。現地声を聞きながら、あたためて水害の恐ろしさを感じる機会になりました。

人吉・大垣地区で搬出作業

8月18日・19日の2日間、玉名市議会議員の有志、玉名市選出の県議会議員で人吉の大垣地区に行き、ボランティア活動を行いました。

伺ったご自宅は、災害からほぼ手つかずの状態、2日間かけて、搬出作業を行いました。途中から地元のボランティアも加わり、力を合わせて作業を進めることができました。



有明海沿岸道路の要望活動

今年も昨年に引き続き、有明海沿岸道路の早期実現に向けて要望活動を行いました。災害に強い県土づくりに向けて全力を注いで参ります!



熊本県議会議員 城戸あつし 事務所 情熱政治!

〒865-0064 玉名市中 1675-1 文仙館ビル 105号 0968(82)8051 FAX 0968(82)8071 E-mail info@atsushikido.com <城戸あつし公式ウェブサイト> https://atsushikido.com



<西野だいすけからのメッセージ>



玉名市の皆様には大変お世話になっております。早いもので、城戸淳県議の誕生から1年半が経ちました。この間、新型コロナウイルスや豪雨などの災害が猛威をふるい、玉名市も、その影響からの回復途上にあります。城戸県議は、新型コロナウイルスに関しては、給付金や助成金の申請のお手伝いに奔走し、また、豪雨に関しては、被災地域の復旧の道筋を立てるなど、大活躍をしておられます。

※令和の新たな課題に関する私の考えについては、西野だいすけ通信15号にお示ししております。HPをご覧ください。城戸あつし事務所までお問い合わせください。

私も、城戸県議の現場主義の姿勢や行動力を見習いながら、共に仕事をさせていただいております。特に、有明海沿岸道路に関しては、今後の玉名の発展のために必要不可欠なインフラとして、古賀誠先生のご指導を賜りつつ、城戸県議とともに実現させます。今後とも、10年先、20年先を見据えながら、玉名と熊本、そして日本の発展に向けて、力を尽くす覚悟です。

城戸淳県議の益々のご活躍と玉名市の発展を心より祈念申し上げ、私のメッセージとさせていただきます。

西野 太亮

情熱政治!!

~国・県・市の連携強化~



発行者：熊本県議会議員 城戸あつし 発行月：令和2年10月(年1回) 事務所：玉名市中 1675-1 文仙館 1F TEL 0968(82)8051 FAX 0968(82)8071

今回の目次

- ✓発行のごあいさつ
✓西野だいすけからのメッセージ
✓活動報告(視察活動、要望活動)
✓議会報告(9月議会の概要など)

「県政報告・第2号」発行のごあいさつ



10月8日、9月議会が閉会いたしました。今回の補正額は877億円で、今年度の予算は合計で1兆604億円となりました。そこで今回は、9月議会の議決内容を中心に「県政報告・第2号」をお届けいたします。

現在、新型コロナウイルス感染症への対策と同時に7月豪雨からの復旧に向けた取り組みも進められております。今ほど、国と県と市の連携の重要性が問われているときはないと実感しております。

行政と市民(県民)が一体となって、災害や感染症に対応すると同時に、経済活動の回復に向けて、私も県政に全力を注いで参ります。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

熊本県議会議員 城戸 淳

熊本県議会議員 城戸あつし 県政報告 第2号

発行者：熊本県議会議員 城戸あつし 事務所：玉名市中 1675-1 文仙館ビル105号 発行月：令和2年10月(年1回) Tel 0968(82)8051 Fax 0968(82)8071



球磨川流域の治水対策について答弁する蒲島知事

9月議会は、9月補正額877億円が議決され、当初予算と8月までの補正額を合計すると1兆604億円となった。今回は、新たに取り組む6つの事業について紹介したい。

<新型コロナウイルス感染症への対応> 133億44百万円 ※感染症の拡大防止対策や地域経済・県民生活の回復に向けた取り組みを推進

<令和2年7月豪雨災害への対応> 30億円 ※「熊本県球磨川流域復興基金」を設置し、流域市町村の要望をふまえて事業化

<通常予算・9月補正分> 713億39百万円 ※熊本県として継続的な取り組みが必要な事業について予算化(計16事業)

✓9月議会のココがポイント

9月議会の中で蒲島知事は、4期目の4カ年戦略について、「豪雨災害の復旧・復興プランの策定後、年度内を目標に県政の方向性を基本方針として示す」と述べ、11月に豪雨災害の復旧・復興プランを策定することを明らかにした。

また、球磨川流域の治水対策については「年内にできるだけ早く県としての治水の考えを示すとともに、国、県、流域市町村が連携して治水の方向性を定めていきたい」と発言した。

総務常任委員会がまとめた「川辺川ダム建設を含む球磨川流域の抜本的治水対策に関する意見書」は10月8日、賛成多数で決された。

<城戸あつしの一般質問>

私の一般質問は、来年の「2月議会」の予定です。質問内容は以下の通りです。



- 企業誘致について
●県営施設の誘致について
●防災と河川の浚渫について
●発達障がい児の増加について
皆様からのご意見をお待ちしております。(Eメール) info@atsushikido.com

<所属委員会(令和2年度)>

- ・経済環境常任委員会
・高速交通ネットワーク整備推進特別委員会
・決算特別委員会

<所属する議員連盟など>

- ▲防衛議員連盟
▲有明海沿岸道路建設促進議員連盟
▲観光・物産振興議員連盟
▲文化懇話議員連盟
▲森林・林業活性化推進議員連盟
▲北朝鮮に拉致された日本人を救う熊本県議会議員の会
▲武道・スポーツ振興議員連盟
▲ゴルフ議員連盟
▲議員野球団

●熊本都市圏の渋滞解消(69百万円) NEW!!

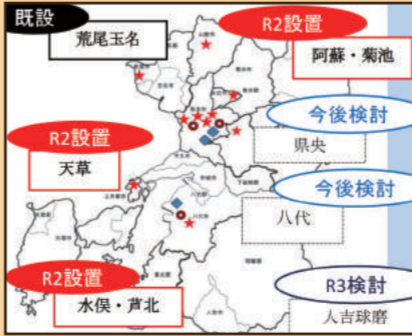
- ①パークアンドライド駐車場の強化・拡大計画策定
②道路整備や信号制御改善等の交通処理能力向上に活用する高度化ビーコン等の設置
③都市圏の広域的な道路ネットワーク構築のための交通解析



北熊本駅のパークアンドライド駐車場

●児童相談体制の充実(42百万円)

- ①児童家庭支援センターの設置(14百万円) 「児童相談所...児童家庭支援センター...市町村」の3層構造の児童相談体制を確立
②フォスタリング(里親養育包括支援)機関の設置(28百万円) NEW!! 里親のリクルート、研修、マッチング及び里親養育への支援に至るまでの包括的な実施体制を構築



児童家庭支援センターを3か所(阿蘇・菊池、天草、水俣・芦北)に設置

●空港周辺地域の産業振興創出(26百万円) NEW!!

- 熊本地震で甚大な被害を受けた空港周辺地域の活性化を目指し、「大空港構想 Next Stage」を策定
○新たな産業や雇用の創出に資する施策として、国の地方創生推進交付金を活用し、「知の集積によるライフサイエンス分野を中心とした新産業創出」の方向性の検討に必要な基礎調査を実施



空港アクセス鉄道のルートイメージ

●職業能力開発施設の拠点化(45百万円) NEW!!

- ①高等技術専門学校を現地で再整備
②技能検定試験会場等として技能振興センター(仮称)を同校敷地内に設置
③熊本県職業能力開発協会を敷地内に招致し、一体的な産業人材育成に取り組む



再整備される予定の高等技術専門学校(熊本市南区幸田1丁目4-1)

●動物愛護センターの整備(27百万円) NEW!!

- 動物管理センターから名称変更「4つの機能」を持った動物愛護の拠点となる新たな施設を整備
①動物の適正飼育や命の尊さについて学ぶ
②動物愛護団体と協働で愛護活動に取り組む
③収容した動物の返還や譲渡を推進する
④収容した動物を個体毎に管理する



命の尊さを学ぶ「動物愛護センター」(熊本市東区戸島町2591)

●清水が丘学園の整備(6百万円) NEW!!

- 「熊本県清水が丘学園整備のあり方検討会議」の答申をふまえ、良好な家庭的環境等の実現に向けて施設整備を推進
①安全で家庭的な環境の確保
②学校教育や施設運営に必要な機能の確保
③体育施設の整備による、より多くの運動機会の確保



清水が丘学園(熊本市北区打越町38-1)

